

行事予定		
1	木	頭髪検査
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	運動会
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	みみょう文庫
15	木	身体測定
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	耳鼻科健診 0.1歳ふれあいの部屋
23	金	園開放・避難訓練・誕生日会 2歳ふれあいの部屋
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	翠町中学校職場体験
28	水	
29	木	
30	金	

うんどうかい

日時 6月10日(土)

0・1・2歳児は、未就園児の皆さんと一緒に競技に参加していただきます。お時間のつく方はぜひご参加ください。

子どもの「やりたい」を大切に

公園の木々が緑の深みを増し、初夏を感じる季節となりました。

新型コロナウイルスも5月8日より5類となり、園内でもマスクを外して子どもと職員が思いきり笑いあう姿に、素顔で保育できることの喜びを感じています。

また、先日行われた参観日では、たくさんの方に参加していただきありがとうございました。親子で夢中になって遊んでいる姿はもちろん、子どもたちを通して、保護者同士が、声をかけあいながらあそびが盛りあがっていく様子を見ていて、人と人とのつながりの大切さを改めて感じています。子育てをする中で、楽しいことも、嬉しいこともしんどいこともあります。共に子どもたちを見守り、今しかない成長を語り合いながら、大人も繋がり、輪を広げていきましょうね。

7月1日(土)にひまわり会主催による「お掃除プロジェクト」を計画しています。園に来ていただき、時間を共にする中で、保護者同士の仲間づくりのきっかけにもなってほしいと思っています。まだまだ参加者募集中です。興味のある方は、担任までお声掛けください。

さて、先日出会った素敵なエピソードを少しご紹介したいと思います。登園時、「よいしょ、よいしょ」とまだおぼつかない足取りの1歳児Aくんが、自分で階段を昇り、2階のお部屋まで向かっていました。保護者の方に声をかけると、いつも階段のところで“おろして”と抱っこから降りたいことをアピールし、自分で登ろうとするんですとのこと。両手でしっかりと手すりを持ち、一段一段登っていくAくんの後ろ姿を保護者の方と一緒に見つめながら、頼もしさはもちろん、自分のやりたいことに向かう気持ちの強さを感じた瞬間でした。そして、登りきると保護者の顔を見つめて「すごいでしょ」と言わんばかりの得意顔を見せるAくん。それに応えるかのように保護者の方がほほえみ返す光景に、私も思わず顔がほころび、ほっこりした気持ちになりました。

赤ちゃんは、生まれながらにして意欲的です。1歳過ぎると、大好きな大人との安心感や信頼感を、心の安全基地とし、自分の身体を試しながら外の世界へと興味を広げていきます。その時の、子どもの姿をどのように見ていくかが、側にいる大人の重要な役割となってきます。子どもがやろうとすることに、出来たてきないではなく、やろうとする過程をしっかり認め、ほめていく。その積み重ねが、自分に自信を持ち、どのようなことにもめげずにチャレンジする精神力へと繋がっていきます。毎日の生活の中で、やりたいことがいっぱいある子どもたちは、“みてみて”とたくさん私たちにまなざしを送り投げかけてくれています。

保護者の方もそのようなエピソードがたくさんあるのではないのでしょうか。変化の大きい今の時代を、自分らしく自信をもって生きていくために、今の子どもたちの「やりたい」に満足するまで応えていき、その子のありのままをまるごと受け止めていきながら、大切な心の土台を一緒に育んでいきましょうね。

お天気の良い日に、園庭にタライを用意しておく、子どもたちは裸足で駆け出し、泥んこあそびが始まっています。泥は、砂と水の配分に応じてその形や粘度、手触りが変わっていきます。水が多ければパシャパシャと…。砂を多く含めばねっとり…。様々な感触をもつ泥は、好奇心旺盛な子どもにとってこれ以上ないあそびです。そのあそびの中で発見したり、試したり、また大好きな大人や友だちと共有しあいながら、子どもたちのやりたいをいっぱい楽しんでいきたいと思っています。これから、暑さが増すと熱中症など心配されることも増えてきます。水分補給や休息など子どもたちの体調には十分留意してまいります。ご家庭でも「早寝、早起き、朝ごはん」の生活リズムを大切にいただき、毎日を元気に過ごしていきましょう。

園長

子育て応援メッセージ

小さいときは手をかけて
大きくなったら心をかける



髪を結んであげたり、抱っこしたり、小さい時は手をかけてあげることができます。でも、大きくなるにつれて子どもは手から離れていきます。その分、心をかけてあげましょう。心の成長は、大人になるための大切なステップですから。

著：宇津崎光代「大丈夫だよ
お母さん」より
いろは出版

地震・水害に備えよう



消さないで
あなたの心の
注意の火

広島市南消防署
警防課 救助係